

## 熊本市客引き行為等対策審議会傍聴要領

制定 平成31年1月10日生活安全課長決裁

(趣旨)

第1条 この要領は、熊本市客引き行為等対策審議会の会議（以下「会議」という。）の傍聴に関し必要な事項を定めるものとする。

(傍聴の手続き)

第2条 会議を傍聴しようとする者は、会議当日、会議の開会までに事務局に申し出、傍聴券（別紙様式）の交付を受けなければならない。

(傍聴の制限)

第3条 次の各号のいずれかに該当する者は、会議を傍聴することができない。

- (1) 凶器その他人に危害を加えるおそれがある物品、又は、看板その他示威宣伝の用に供される物品を持っている者。
- (2) 酒気を帯びていると認められる者。
- (3) その他会議の円滑な運営を妨げるおそれがある者。

(傍聴人数の制限)

第4条 熊本市客引き行為等対策審議会の議長（以下「議長」という。）は、傍聴席の都合その他必要があると認めるときは、傍聴人の数を制限することができる。

(傍聴人の守るべき事項)

第5条 傍聴人は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 会議における発言に対して拍手その他の方法により賛否を表明しないこと。
- (2) 会議の妨害になるような示威宣伝又は扇動に類する行為をしないこと。
- (3) 撮影、録画、録音等をしないこと。ただし、議長の許可を得た場合は、この限りではない。
- (4) 飲食又は喫煙をしないこと。
- (5) 議長の指示に反する行為をしないこと。
- (6) その他会議の秩序を乱し、又は会議の妨害となるような行為をしないこと。

(傍聴人に対する退場措置)

第6条 傍聴人が前条の規定に違反し、又は会議の運営を妨げるおそれがあるときは、議長は、これを制止し、その命令に従わないときは、退場を命ずることができる。

2 傍聴人は、前項の規定により退場を命じられたときは直ちに退場しなければならない。

(委任)

第7条 この要領に定めるもののほか、会議の傍聴に関して必要な事項は、議長が別に定める。

附 則

この要領は、平成31年1月10日から施行する。

(別紙様式)

年 月 日

# 傍聴券

No. \_\_\_\_\_

- ※本傍聴券は、当日に限り有効です。  
※再入場される際は、傍聴券の提示が必要です。

【熊本市客引き行為等対策審議会】